

平成26年11月6日(木)

1G	テーマ	自施設で抱えている問題についての解決への糸口
----	-----	------------------------

◆問題点

- ・ ご自身で移乗してしまう利用者に対して、マンパワー不足等で見守りきれず、センサー使用。いつ外してよいかわからない。(カンファレンスは実施している。)
- ・ 離設してしまう利用者がいる。
- ・ センサーが抑制の道具となっている。

●改善策(センサーの代替案)

- ・ 家族への転倒リスク説明
- ・ トップの方針(事故を個人の責任にしない)
- ・ 巡視の増回(無理にでもセンサーを外す)

2G	テーマ	自施設で抱えている問題についての解決への糸口
----	-----	------------------------

◆問題点

- ・ 身体拘束は、意識しているが、個々によっては、スピーチロックは、意識が薄い。
- ・ センサーマット使用  
 センサーマットの音と柵の音の違い。  
 本人がどのように思っているのか。  
 苦痛と思っているのか。  
 部屋移動にて見守り頻回にする対策。

3G	テーマ	自施設で抱えている問題についての解決への糸口
----	-----	------------------------

◆問題点

- ・ ご家族との身体拘束に対する意識の差

●解決策

- ・ 入所時の説明(文章にて伝える)  
 その時々のご利用者様の状況を伝える。

平成26年11月6日(土)

4G	テーマ	自施設で抱えている問題についての解決への糸口
----	-----	------------------------

◆問題点

- ・ センサーが外せない
- ・ 言葉の抑制がかなりある。

●対策

- ・ 利用者様の状態をできるだけ把握し、観察や職員同士の情報の共有に務めて連携し、援助して行く。
- ・ 職員一人一人が意識を高く持ち利用者様の尊厳を保持する。

5G	テーマ	自施設で抱えている問題についての解決への糸口
----	-----	------------------------

- ① スピーチロックが一番気になる。  
基本的に対応の優先順位を決めているが、うまく行かない。
- ② 歩行不安定。在宅では、問題ないが、施設では、つかまる所が無く、転倒しそうな為、歩行が自由に出来ない。  
  
歩行補助具→ショートだと難しいこともある(評価しづらい)  
各セクションの評価の統一が大切。
- ③ 認知症の方への対応。何回言ってもわかって頂けなくて、センサーが外せない。  
→ちょっと待って下さい。スピーチロックが多くなりがち。  
マンパワー⇒寄り添う時間が必要！
- ④ 拘束≠安全。難しい。

7G	テーマ	自施設で抱えている問題についての解決への糸口
----	-----	------------------------

- ・ 日常で一番出てきてしまうのは、言葉の抑制(特に認知症の方に対して) 接遇 お待ちください。説明の付け加え。話題を変えてみる。

8G	テーマ	自施設で抱えている問題についての解決への糸口
----	-----	------------------------

車椅子使用。立ち上がり転倒。骨折の経験あり。

ご家族の希望でベルト装着している。

介護は装着をしたくなかった。

はずせる方向を求めて、はずせる時間をみつけている。

日中は、はずせるようになってきているが、  
夜間は、マンパワー不足もあり、ベルトをつけている。

車椅子⇒シルバーカーに

立ち上がる理由 排泄

はずしている。いられる時間の様子。レク、TV、人手あり。

夜間の対策

生活歴より、関わりのヒントを見つける。

- ・ はずすことを急がない。
- ・ モニタリングをしっかり行い現状を把握。
- ・ 目的をはっきり
- ・ ご家族と信頼関係を持つ。